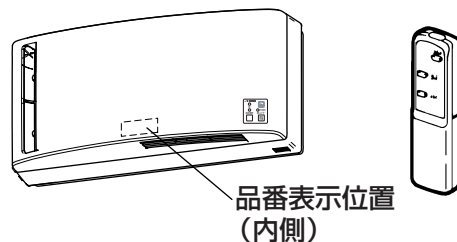


24時間換気システム〈エアスマート〉専用部材
熱交換型換気扇 DKファンNK 11型

品 番

SB0908-K11 (08タイプ)

SB0910-K11 (10タイプ)



取扱説明書

お客さま用

お客さま自身では取付けないでください。(安全や機能の確保ができません)

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。
なお、ご使用前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

もくじ

ページ

使うまえ

安全のために必ず守ること	2
ご使用にあたってのお願い	3
特長	3
各部のなまえとはたらき	4
使用前の準備	4

使うまえ

使いかた

運転のしかた	5
--------	---

使いかた

こんなとき

お手入れ	6～9
「故障かな？」と思ったら	10
アフターサービス	11
仕 様	11

こんなとき

安全のために必ず守ること

※1＝電源プラグが付いている場合

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
 禁止 ●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない(※1) (電源コードが破損し、火災や感電の原因) ●可燃性ガスが漏れた場合は換気扇のスイッチを入・切しない (電気接点の火花により爆発する原因) 窓を開けて換気してください	 指示に従い必ず行う ●交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると感電の原因) ●電源プラグについたほこりは清掃する(※1) (漏電火災の原因) ●電源プラグは、がたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む(※1) (差し込みがゆるいと感電や火災の原因) ●お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜く(※1) (通電状態では感電やけがの原因) ●異常時(こげ臭い等)は、運転を停止して分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜く(※1) (異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因) ●外気の取り入れ口は、燃焼ガス等の排気を吸い込まない位置にあるか確認する (新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因)
 分解禁止 ●改造や工具を必要とする分解はしない (火災・感電・けがの原因)	
 水ぬれ禁止 ●製品を水につけたり、水をかけたりしない (火災や感電の原因)	
 ぬれ手禁止 ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない(※1) (感電の原因)	

 注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
 禁止 ●換気扇の風が直接あたるところに燃焼機器を置かない (不完全燃焼による事故の原因) ●高温(40℃以上)や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所では使用しない (火災の原因) ●天井に取付けない (落下によるけがの原因)	 指示に従い必ず行う ●専用別売部品の屋外フードを取付ける (雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因) ●お手入れの際、踏み台等を使用する場合は平らなところや異物のないところで行う (転倒してけがの原因) ●お手入れの際は手袋を着用する (着用しないとけがの原因) ●お手入れ後の部品の取付けは確実に (落下によるけがの原因) ●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く(※1) (感電やショートして発火の原因) ●長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜く(※1) (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因) ●外気温が低いときや、雪や風、雨の強いとき、霧や粉雪のときは運転を停止する (給気とともに水・雪が浸入し水垂れの原因)
 接触禁止 ●運転中は、本体内部で羽根が回っているため、指や物を入れない (けがの原因)	
 風呂・シャワー室での使用禁止 ●浴室など湿気の多いところでは使用しない (感電および故障の原因)	

ご使用にあたってのお願い

■冬期運転時、この製品は室外の冷えた空気に室内空気の熱を伝えて室内に取り入れます。

外気温が -10°C より低下した場合には、パネルおよび本体内部が結露・結氷するおそれがあります。

結露や結氷については、種々の微妙な条件（室内の湿気、空気の流れ等）によって発生状態が異なるため、状況に応じて運転モードの切換え・一時停止を行ってください。

（24時間換気扇としてご使用の場合、一時停止後は運転を再開してください）

また、本体表面に結露した場合は、ふき取ってください。

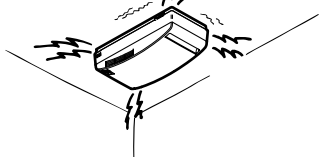
なお、右表の外気温を目安に「寒いときモード」に切り換えてください。 5

外気温の目安

運 転	-10°C 以上
「寒いときモード」	$-10\sim-20^{\circ}\text{C}$
停 止	-20°C 以下

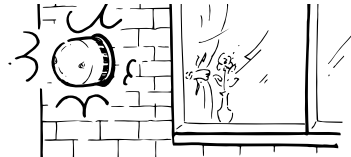
■ご使用の前に取付け状態を確認してください。

天井に取付けられていないか



壁取付け専用タイプのため、落下することがあります。

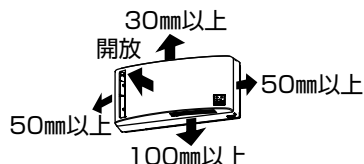
外壁には専用屋外フードが取付けられているか



取付けないと風雨の浸入により故障の原因になります。

■使用時には次のことに注意してください。

製品のまわりに物を置かない



風の吹出口・吸込口がふさがれたり、お手入れができなくなります。

下記のような場合は、運転を停止する

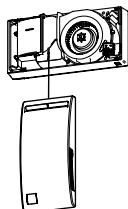
- ・外気温が低いときや、雪や風、雨の強いとき
 - ・霧の多いときや粉雪のとき（給気とともに水・雪が浸入し水垂れの原因）
 - ・清掃・点検時
- ※24時間換気扇として使用する場合は、上記条件以外、運転を停止しない。（一時停止後は運転を再開する）

パネルをふさがない



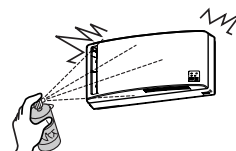
十分な換気できません。

パネルを強く引張らない



落下する原因になります。

スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用）を直接かけない



パネルが変質、破損する原因になります。

■ベッドは製品から離して設置することをおすすめします

（就寝時に製品の運転音や冷風を感じるおそれがあります）

■屋外フードの格子部より小さい虫は本体内部へ侵入する場合があります。

特長

熱交換型換気扇とは

お部屋の汚れた空気を排出（＝排気）するとともに、きれいな外気を室内へ取り入れ（＝給気）ます。

その際、外気を室温に近づけて給気します（＝熱交換換気）。

＊エアコンではありません。熱交換換気をする換気扇です。

◆排気だけではなく給気も行うので高気密住宅に適しています。

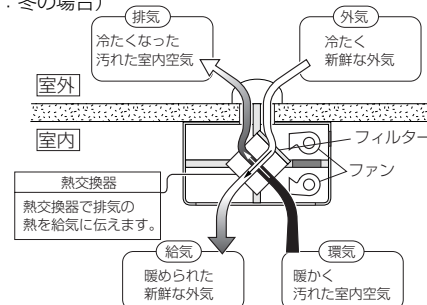
◆熱交換換気のため、排気専用換気扇に比べて冷暖房費を節約できます。

◆内蔵のフィルターにより、外気のチリ、花粉などの侵入を軽減して室内に給気します。

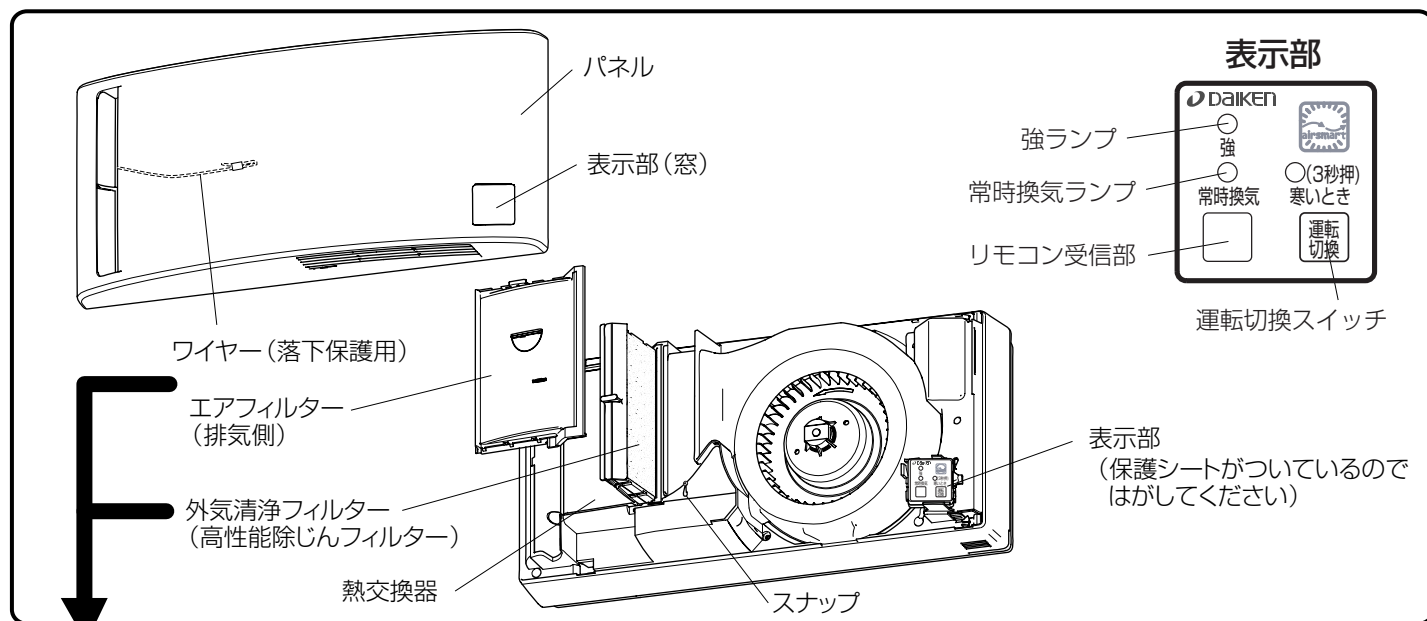
◆冬場の冷風感や本体結露防止には、「寒いときモード」が設定できます。 5

熱交換換気のイメージ

（例：冬の場合）



各部のなまえとはたらき



フィルターについて

			特 長
エアフィルター		排気側	内部部品の目づまりを防止するためのフィルターです。
外気清浄フィルター (高性能除じんフィルター)		給気側	外気に含まれる花粉や、チリ、ほこりなど、10 μ m (0.01mm) 以上の粒子を97%以上(質量法)取り除いて室内へ取り入れます。

外気清浄フィルターは、1年を目安に別売フィルターと交換してください。

(別売フィルター以下のいずれかをお求めください)

大建工業品番: SB0999-K13 (工務店さまにお問合わせください)

三菱電機品番: P-10HF (お近くの電気店でお買い求めください)

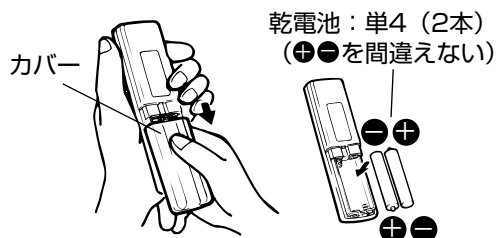
使用前の準備

1. 電源を入れる

分電盤のブレーカーを入れる。(電源プラグ付きの場合はコンセントを差し込む)

2. リモコンの準備

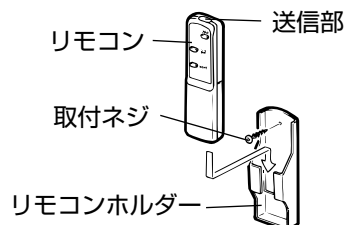
裏側のカバーをはずし、リモコンに乾電池を入れる。



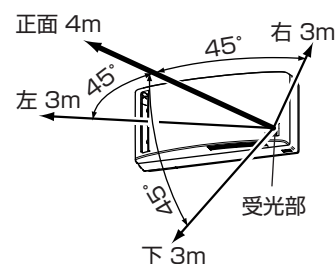
リモコンホルダーの取付けかた

リモコンホルダーを取付ネジで固定します。

* 壁などに取付ける場合は、操作できる位置を確かめてから近くの壁に取付けてください。



リモコンの操作範囲



お願い

- リモコンが動作しなくなったり、信号が届きにくくなった場合は、新しい乾電池と交換してください。
- 交換する乾電池は必ず2本とも新しい、同じ種類のものをお使いください。
- 充電式乾電池は使用しないでください。
- 乾電池の漏液による故障をさけるため、長期間使用しない場合は、乾電池を取り出してください。
- 乾電池が古くなったり、電子点灯方式の蛍光灯 (ICインバータ蛍光灯など) の近くや、直射日光などの強い光のあたる場所に設置すると、リモコンの信号を受けつけにくくなる場合があります。

運転のしかた

三二情報

- 「強」運転……………お部屋の空気が汚れている（喫煙等）と感じたとき「強」運転してください。
- 「常時換気」運転…普段お使いのときは「常時換気」運転してください。

メモ

- 新築間もない住宅または観葉植物を多く置いている住宅などでは、冬期（特に外気温が低くなったとき）、パネルの表面に結露することがありますが故障ではありません。パネルの表面の水滴をふき取ってください。

お願い

- 24時間運転のため下記のようなとき以外、運転を停止しないでください。
 - ・外気温が低いときや吹雪や台風などのような、雪や風、雨の強いとき
 - ・霧の多いときや粉雪のとき（給気とともに水・雪が浸入し水垂れの原因）
 - ・清掃・点検時
- また、上記のようなときは運転を停止してください。

「強」運転をする

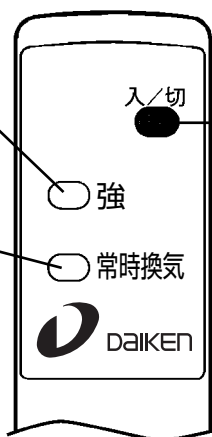
強ボタンを押す

- 本体の強ランプが点灯します

「常時換気」運転をする

常時換気ボタンを押す

- 本体の常時換気ランプが点灯します



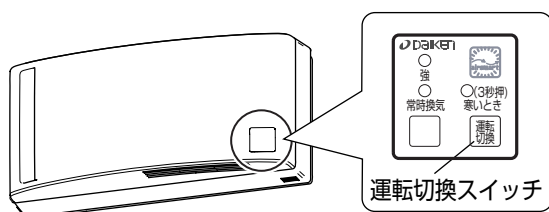
運転／停止する

入/切ボタンを押す

- 押すたびに「入」→「切」→「入」と切り換わります。
- 入/切ボタンを「入」にすると最初は「常時換気」運転をします。
- 入/切ボタンを「切」にすると停止します。再び入/切ボタンを「入」にすると、停止前のモードで運転します。

《リモコンが使えないとき》

乾電池切れなどでリモコンが使えないときは、本体の運転切換スイッチで運転操作をしてください。運転切換えスイッチを押すたびに下図のように切り換わります。



常時換気運転 → 強運転 → 停止

「寒いときモード」のしかた

○「寒いときモード」とは……

- 冬期に外気温が低くなり、取り入れた空気（給気）が寒く感じたり、本体の結露が気になる場合に「寒いときモード」にします。給気側のシャッターを閉じて、排気側のシャッターを開いた状態にすることで、給気（冷たい外気）量を抑えた運転になります。（※外気温の目安は3ページを参照ください）

本体表示部の運転切換スイッチを長押し（3秒）する。

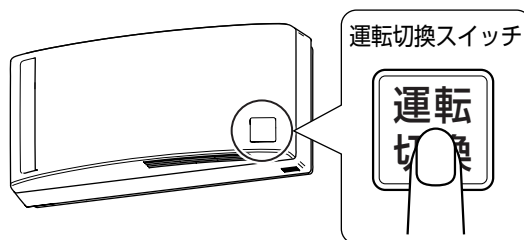
- 「ピッ」と音がなり、「寒いとき」モードランプが点灯します。（内蔵のシャッターが電動で動きます）

「寒いときモード」の必要がなくなったときは、再度運転切換スイッチを長押し（3秒）する。

- 「ピッピッ」と音がなり、「寒いとき」モードランプが消灯します。（内蔵のシャッターが電動で動きます）

お願い

- 停止中は「寒いときモード」への切り換えはできません。



お手入れ

熱交換型換気扇の機能を長く維持していただくために、外気清浄フィルター・エアフィルターに付着したごみ、ほこりを**3か月に1回以上**、熱交換器は**2年に1回**を目安に清掃してください。

警告

- お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグ付きの場合は電源プラグを抜く
(通電状態では感電やけがの原因)

注意

- お手入れの際は手袋を着用する
(着用しないとけがの原因)
- 踏み台等を使用する場合は、平らなところや異物のないところで行う
(転倒してけがの原因)

フィルターの取出しと清掃／交換 …目安：3か月に1回以上

1.電源を切る

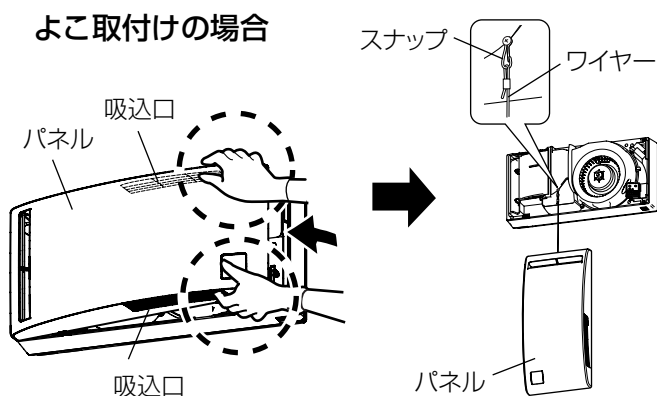
- 1.運転を停止する。
- 2.停止後、約10秒待つ。(電動シャッターが全閉になります)
- 3.分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグ付の場合は、電源プラグをコンセントから抜く。



2.パネルを開ける

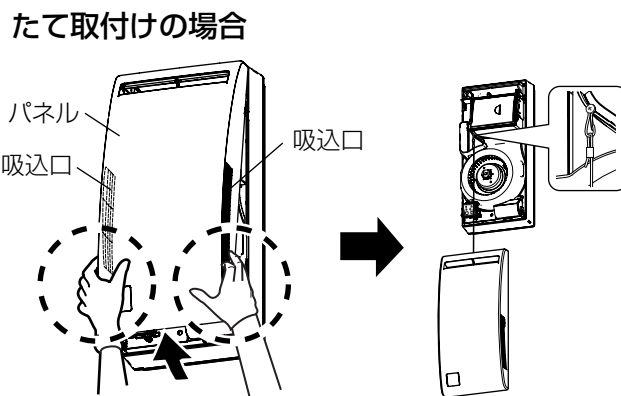
よこ取付けの場合

- 1.図のようにパネルの上下側面にある吸込口右側寄りの格子部に両手を掛けて手前に引く。
- 2.パネルをはずし、吊り下げる。
 - 本体からパネル(ワイヤー)をはずす場合は、スナップをつまんでワイヤーを取りはずす。
 - 吊り下げたパネルをゆらさないでください。(壁紙が傷付くおそれがあります)



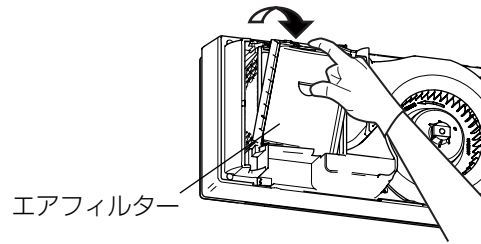
たて取付けの場合

- 1.図のようにパネルの左右側面にある吸込口下側寄りの格子部に両手を掛けて手前に引く。
- 2.パネルをはずし、吊り下げる。



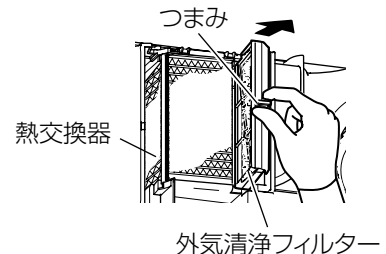
3.エアフィルターをはずす

エアフィルターを図のように持ち、上部の引掛部からエアフィルター上部を手前に引いてはずし、取はずす。



4.外気清浄フィルターをはずす

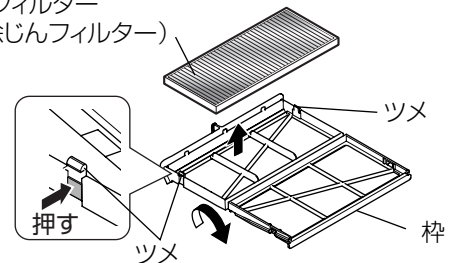
外気清浄フィルターのつまみを持って引き出す。



5.外気清浄フィルターを枠から取りはずす

- 1.2か所のツメ部分を押して開ける。
- 2.外気清浄フィルターを取り出す。

外気清浄フィルター
(高性能除じんフィルター)



6.各フィルターを清掃/交換する

●外気清浄フィルターの清掃

清掃：掃除機でほこりを吸い取る。(水洗禁止)

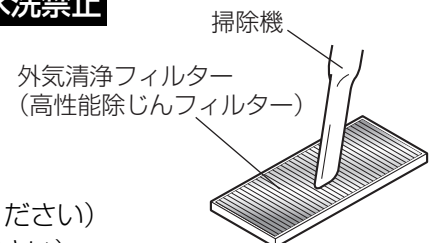
交換：1年に一回以上

別売フィルターは以下のいずれかをお求めください。

大建工業品番：SB0999-K13 (工務店さまにお問合わせください)

三菱電機品番：P-10HF (お近くの電気店でお買い求めください)

水洗禁止



お願い

- 掃除機で破損させないように注意してください。
- 柔らかいものですので破損しないように注意してください。
- 水洗いは絶対におやめください。

●エアフィルターの清掃

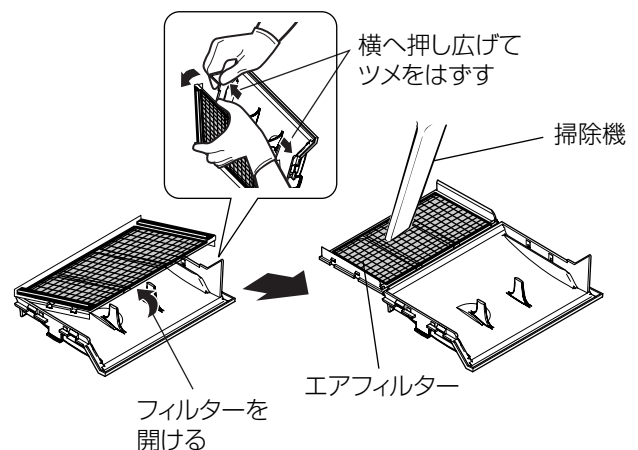
清掃：1.図のように開ける

2.軽く手でたたか、掃除機でほこりを吸いとる。

3.汚れがひどい場合は、水に浸した布を固くしぼってふく。

お願い

- 熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。
- 直接火にあてて乾かすことはしないでください。



お手入れ つづき

7.お手入れ後の組立てと確認

1. 外気清浄フィルターを枠に取付ける。
 - 図のようにツメの付いている枠にフィルターをリブ2か所にささるようにして入れて閉じます。
(表裏の区別はありません)

お願い

- 必ずフィルター枠のツメ2か所を引っかけてください。
2. 製品にフィルター枠を取付ける。(取付方向注意)

3. エアフィルターを取付ける。

お願い

- 必ずエアフィルター上側のツメ2か所を引っかけてください。

下側の溝へ差し込んだ後、上側のツメ2か所を引っかける

4. パネルを取付ける。

- パネルの片側2か所のツメをはめ込み、パネルを押しつける。

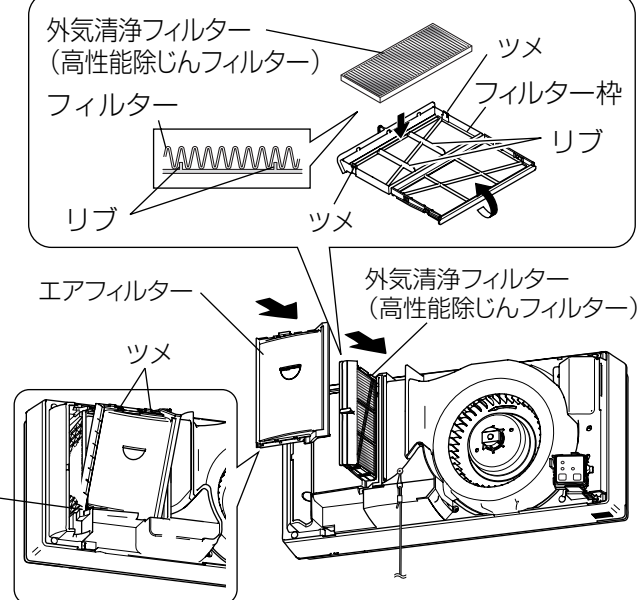
5. 電源を入れる。 **4** ページ

6. 組立て後、次の確認をする。

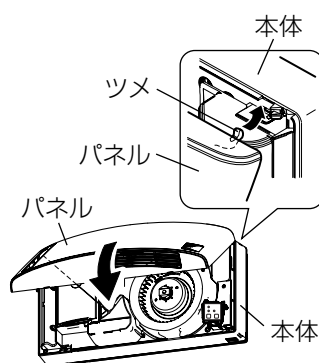
- (1) 本体・パネルが確実に取付けられていますか？
(4か所のツメ全てが引っかかっているか確認してください)
- (2) 異常な音が出ていませんか？
- (3) 風は正常に出ていますか？
(必ず運転をして確認してください)

！ 注意

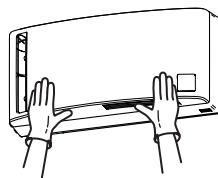
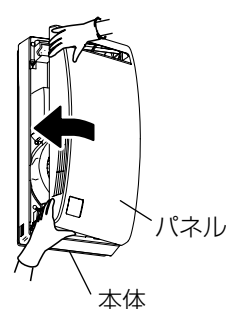
- お手入れ後の部品の取付けは確実に行う
(落下によるけがの原因)



よこ取付けの場合



たて取付けの場合



パネル・本体の清掃

- パネル・本体が汚れてきたら、中性洗剤を入れたぬるま湯（40℃以下）に浸した布を固くしぼって拭き、洗剤が残らないようきれいな布で拭き取る。

お願い

- お手入れに下記の溶剤などを使用すると変質・変色する原因になります。
（シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤）
- 電源プラグについたほこりを清掃してください。（電源プラグ付の場合のみ）

熱交換器の清掃 …目安：2年に1回

1.電源を切り、パネル・フィルターをはずす 6~7 ページ

2.熱交換器を引き出す

3.掃除機で表面のごみ・ほこりを吸い取る

- 掃除機のノズル（ハケ付）を軽く当てて清掃する。

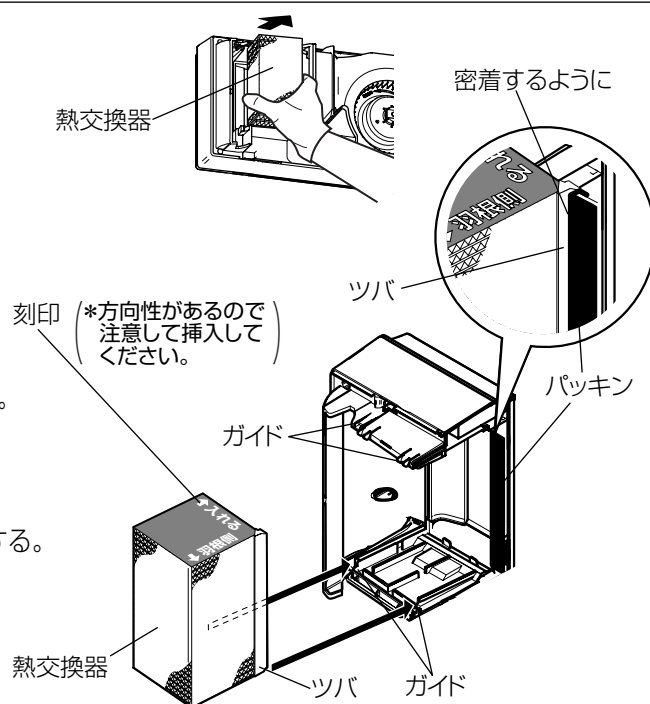
お願い

- 熱湯、薬品、揮発性の溶剤などをかけないでください。
- 水洗禁止
- 火に近づけないでください。
- 針金、ドライバー、掃除機の硬いノズルなどを強く当てないでください。

4.熱交換器を元通り取付ける

- 方向性があります。
(1) 熱交換器の刻印「△入れる」と「▽羽根側」の方向を確認する。
(2) 本体のガイドの内側に熱交換器を入れる。
(3) 熱交換器のツバとパッキンが密着するように熱交換器を奥まで押し込む。

5.お手入れ後の組立てと確認をする 8 ページ



「故障かな？」と思ったら

次のような症状があれば点検してください。点検をしても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、必ず分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグを抜いてからお買上げの販売店、または工事店にお申しつけください。

こんなとき		原因	点検します
運転しない		本体へ通電されていますか？	●電源プラグを点検します ●ブレーカーを点検します ●停電ではありませんか？
リモコンで操作できない		乾電池が古くなっていませんか？	乾電池を新しいものに換えます
		距離が遠すぎませんか？	受信するところまで移動します
		乾電池の⊕⊖が逆に入っていないですか？	正しく入れ直します
		蛍光灯や太陽光の影響を受けていませんか？	●受信するところまで移動します ●光が本体に直射しないようにさえぎります
音がする	音が大きくなった うるさくなった	パネル、フィルターがしっかり取付けられていますか？	取付け直します 8 ページ
		フィルターが目づまりしていませんか？	清掃します 7 ページ
	運転モードの切替時、運転開始、停止時に音がする	製品内部のシャッター動作音です。	故障ではありません
風が少なくなった		フィルターが目づまりしていませんか？	清掃します 7 ページ
停止中、冷気や風がいつもより多く入る		運転中（または停止後、約10秒以内）に電源を遮断するとシャッターが開いたままになります	ブレーカーを入れ、電源プラグ付きの場合は、コンセントに差し込み、一旦運転を行った後に停止して約10秒待ちます。（電動でシャッターが閉じます）
パネルが閉まらない		熱交換器、外気清浄フィルター、エアフィルターが正しく取付けられていますか？（逆入れ、位置ずれなど）	正しく入れ直します 8 ページ
給気が寒く感じる		外気温が低下していませんか？	「寒いときモード」に切り換えます 5 ページ
風が出ない 風が少ない タバコの臭いが残る		本製品は熱交換換気をする換気扇のため、他の一般的な換気扇と比較すると風量は少なく感じますが、異常ではありません タバコの煙を排煙しても臭いは残る場合がありますが、異常ではありません	

アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「大建工業各営業所」に連絡ください。
長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこのDAIKEN熱交換型換気扇 DKファンNK 11型の補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕 様

品 番	電 圧 (V)	周波数 (Hz)	ノッチ	消費電力 (W)	風 量 (m³/h)		有効換気量 (m³/h)	温度交換効率 (%)	騒 音 (dB)	質 量 (kg)
					排 気	給 気				
SB0908-K11	100	50	強	21	44.5	37.5	29.5	65	34.5	5
			常時換気	13	30.5	24.5	21	72	27	
		60	強	22	45	38	30	65	35	
			常時換気	13	27.5	22	19.5	73	25	
SB0910-K11	100	50	強	21.5	51	43	33	61	37.5	5
			常時換気	13	35.5	29	24.5	69	29.5	
		60	強	24.5	56	47.5	36	59	39.5	
			常時換気	14	34	28	23.5	70	29	

※上記値は、JIS規格（JIS C9603）に基づいて測定した値です。
※騒音値は、JIS B8628に基づく測定法による測定値です。お部屋の構造によって上記値より高くなる場合があります。
※有効換気量はJIS C8628-2003（全熱交換器）の減衰法に基づいて、本体と1穴用フード（SB0899-K01）および専用パイプ（長さ300mm）を組合わせた状態での値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。
〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて右記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。
また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
●「経年劣化とは」長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件 JIS C 9921-2 による

環境条件	電 圧	単相 100V	定格電圧による
	周 波 数	50Hz および 60Hz	
	温 度	20℃	JIS C 9603 から引用
	湿 度	65%	
負荷条件	設置条件	標準設置	据付説明書による
		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1 年間の使用時間	24 時間換気時間 8760 時間 / 年	

保証書

本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、お買上げの日から下記の期間中に故障した場合には、お買上げ販売店にご依頼ください。無料修理をさせていただきます。

- 本書の※印欄に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

Effective only in Japan.

品番		保証期間 (お買上げ日より)	本体1年間
※お客様	お名前	お買上げ日	年 月 日
	様	※特約店名 販社名	
	ご住所 〒	特約店名 ※住所 店名	 または サイン
	電話 ()		電話 ()

<無料修理規程>

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合、お買上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島または離島に準じる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご贈答品等で本書に記載してあるお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、取扱説明書記載の大建工業各営業所へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ホ) 一般用以外（車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷。

修理実施日	修理内容	サービス員氏名

◎この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または大建工業各営業所にご相談ください。

◎保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間につきましては11ページをご覧ください。

お客さま
メモ

サービスを依頼
されるとき便利
です。

品番	
お買上げ年月日	年 月 日
お買上げ店名 (住所)	
(電話番号)	()

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
(材質名は主材料にISO規定の略語を使用)